



立川市民

オペラ通信

第1号



今まで「愛読いただきました」立川市民オペラの会サポーター通信は、今号から「立川市民オペラ通信」と名称を変えスタートいたします。

〈立川市民オペラ合唱団より〉

11月から、いよいよ動きを入れた立ち稽古が始まりました。4月から7か月間、音楽稽古でみっちり歌を練習してきましたが、音楽がしつかり出来た上での演技ですから、現在も音楽稽古と並行して練習しています。我が団は合唱をサポートしてくれるメンバー(CS)がいて通常の稽古時にソリストの代役をしてくれます。おかげでオペラの流れが掴みやすく、より本番に近い練習ができます。

1月25日(木)にはプレイベント「合唱で綴る椿姫への誘い」を行いました。合唱団員、そしてCSがソリストとして出演しました。プレイベントとはいえ、本公演の演出助手を務める原純先生演出のもと、照明などにもこだわり、ほぼ全幕を演奏しました。本公演の予習にもなったのではないのでしょうか。ご来場いただいた皆様、ありがとうございます。

〈立川市民オペラオーケストラより〉

2017年11月に発足した立川市民オペラオーケストラの練習もすでに6回を数え、本公演に向けた音楽づくりも本格的になってきました。この楽団は、立川管弦楽団と

たちかわにオペラあり！

立川市民オペラ公演2018 ヴェルディ作曲 歌劇『椿姫』公演も目前となりました

2018年2月 発行
立川市民オペラの会
〒190-0022
立川市錦町3-3-20
たましんRISURUホール
(立川市市民会館) 2階
(公財)立川市地域
文化振興財団 内
TEL042-526-1312
FAX042-525-6581

TAMA 21交響楽団の二楽団を中心に構成され、オペラ演奏に意欲のある団員が集まっています。回を重ねるごとに団内の親睦も深まり、音楽にも影響しているように感じます。これからさらに演奏水準を高め、練習に熱が入っております。本番の演奏をどうぞお楽しみに。

レクチャー&ミニコンサート

本公演の演出家・直井研二が椿姫のあらすじや見どころ聴きどころをわかりやすく紹介、本番に出演するソリストが代表的なアリアなどを披露します。(約2時間・休憩有)

日時：2月13日(火) 19時開演

会場：たましんRISURUホール小ホール

入場無料・要整理券

講師：直井研二 ピアノ：今野菊子

出演：鳥海仁子(ヴィオレッタ)

金山京介(アルフレード)

牧野正人(ジェルモン)



整理券は、たましんRISURUホール1階受付にて配布中！

連載「知っている面白くなる」

サポーター通信42〜45の続き

2幕冒頭でアルフレードが「燃える心を」でヴィオレッタとの幸せな生活を爆発させますが「E strano! (不思議だわ)」というヴィオレッタの眩きから物語が動き始めます。二人を別れさせようとするアルフレードの父ジェルモンと、すべてを受け入れアルフレードをあきらめるヴィオレッタの長い2重唱が一般的には聴き所とされています。2幕最後ではアルフレードに侮辱されたヴィオレッタは、それでもなおアルフレードを思い続けます。男どもの単純さ、身勝手な考えと説得に比べて、病気になるにもかかわらず、財産を投げ打ったヴィオレッタのアルフレードの対する思い、彼の家族に対する思いが、個人的には聴き所と思っています。

H・S

「立川市民オペラ」で検索！

【HP】 <https://tachikawaoperaassociation.jimdo.com/> 【Facebook】 <https://www.facebook.com/tachikawacitizenopera/>
メールでのお問い合わせは opera@tachikawa-chiikibunka.or.jp (事務局)